

令和元年度 日限山地域ケアプラザPDCAシート_公表用
(事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

当地域ケアプラザの担当する地区は、ひざり連自治会地区と丸山台自治会地区で、人口は併せて約16,000人(ひざり地区約8,900人、丸山台地区約7,100人)、高齢化が進展し高齢化率は29.0%(ひざり地区32.9%、丸山台地区24.1%)となっています。

今後、さらに高齢化が進展し、特に後期高齢者の割合が増加することが予想されます。これから重要になってくることは、

- ① 高齢者自身の健康を増進し、元気な高齢者をできるだけ増やす。
- ② 要援護高齢者になっても、地域で支え合える環境をつくる。
- ③ 少子化に伴い子どもの人数は減少しますが、そうであるからこそ地域が協力して、子育てしやすい地域をつくり、子育て世代が長く住み続け、さらには子育て世代を呼び込むような取組が大切になってきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
■	<input type="checkbox"/>	ひざり地区では地域で活動しているグループの情報をまとめた情報誌「参加しませんか」を作成し2年に1度更新して地域に配布していますが、丸山台地区については作成していません。丸山台地区の地域情報誌作成に向けて地域と調整するとともに、各自治会館等で活動する趣味サークルの調査を行います。
■	<input type="checkbox"/>	担当地区内には、定年退職後の男性を中心とした男性グループが3つあり、各グループが個別に活動しています。そこで、3つの男性グループの交流会を開催し、さらなる活動の充実を図るとともに、連携した活動ができるようにします。
■	<input type="checkbox"/>	多世代での交流ができる場が不足しているというニーズから地域住民が中心になり始まった「ひざりにちようあそVIVA!」の後方支援を行っていきます。また、就労している世代にもケアプラザを利用してもらうという考えから「オトナの学習ルーム」や、いつでも乳幼児や未就学児と行けるフリースペースが欲しいというニーズに合わせた「ぴよぴよスペース」など、新規事業を実施します。
■	<input type="checkbox"/>	担当地区には、地域サロンが十数か所ありますが、運営する上での担い手が不足しています。地域ケアプラザ以外の専門職や地域密着型サービス事業所にサロンの運営への協力を依頼し、サロンの行事企画や運営を支援していただきます。
■	<input type="checkbox"/>	港南区版エンディングノートが昨年度末に完成し、今年度から配布することになります。区版エンディングノートの周知・普及と共に、成年後見制度の理解啓発講座を、エリア内のシルバークラブやサロンを対象に開催します。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

計画していた新規事業は、地域の皆様とともに取り組むことで概ね計画どおりに実施することができました。課題ですが、新たに始まった居場所については、事業を継続して実施し地域に定着させ、参加者をできるだけ増やしていくことです。また、丸山台地区の地域情報誌作成に向けて、さらに調整や調査を進め、できるだけ早く完成するように努力していきます。

区からのコメント

地域の活動も活発であり、その後方支援を所内で連携して行うとともに、子どもや子育て世代向けの新たな事業を実施しています。今後は、当該事業を検証し、次年度に生かすとともに区役所や学校などと意見交換し、より地域に根付いた事業となることを期待しています。

エンディングノートの周知・普及のための講座を積極的に実施していますが、今後の事業展開の工夫、実施後の検証を行い、更なる普及拡大を期待しています。